

2015年10月30日
国際協力機構（JICA）カンボジア事務所

**=プレスリリース=
プノンペン都内の洪水排水状況が改善されます
～第三次プノンペン市洪水防御・排水改善計画（完成式）～**

11月5日（木）午前8時～午前10時半、プノンペン都カンボジア・ベトナム友好公園にて、無償資金協力事業「第三次プノンペン市洪水防御・排水改善計画」（供与限度額：37億円）の全排水管敷設工事を終えた完成式が執り行われます。同式典には、フン・セン首相、ブン・ラニー首相夫人、パ・ソチェットボン知事他関係閣僚、日本政府の代表者、隈丸優次駐カンボジア日本国大使、安達一JICAカンボジア事務所長、及び4,000人の住民が出席する予定です。

プノンペン都は、カンボジアの行政と商工業の中心地で、メコン川を右岸に抱えた低地に都市域を拡大させてきました。このため、同都内では基本的に平坦な地形が多く、排水しづらい特性があります。

フランス植民地時代の1960年代から整備されてきた既存の排水路・排水管は、1970年代から約20年間続いた内戦の期間中に維持管理がなされず放置されていました。またプノンペン都が使用している清掃機材は老朽化による機能喪失・低下がみられる上、故障も多く、ゴミや汚泥の堆積による排水管路の閉塞が進行して排水機能が低下していました。

このため、年間の降雨量の90%が集中する5月～10月の雨季には、家屋の床下・上浸水、生鮮市場の浸水、交通遮断等に伴う経済被害や、汚水の逆流による悪臭の発生等衛生面の被害が発生しています。

このような状況に対し、日本は1998年の開発調査から15年以上、プノンペン都の洪水防御・排水改善の事業を実施してきました。今次では南東部のトラベック地区における約20キロメートルの排水管敷設工事の他、排水管网の維持管理用の機材の調達ならびに排水管网の清掃・維持管理計画の立案と実施に対して支援を行っており、これらの活動を通じて対象地域の浸水被害状況は大きく改善される見込みです。

＜関連案件＞

プノンペン市洪水防御・排水改善計画

<http://www.jica.go.jp/oda/project/0205700/index.html>

第二次プノンペン市洪水防御・排水改善計画

<http://www.jica.go.jp/oda/project/0700100/index.html>

第三次プノンペン市洪水防御・排水改善計画

<http://www.jica.go.jp/oda/project/1061230/index.html>

＜プレスリリース問い合わせ先＞

JICA カンボジア事務所 広報班 戸倉、青木

Emai : Tokura.Yuko@jica.go.jp, Aoki-Yukiko@jica.go.jp / Tel : +855-(0)-23-211-673

所在地 : 6th, 7th, 8th Floors, Building #61-64, PreahNorodom Blvd, Phnom Penh, Cambodia

排水管網の清掃車両



排水管網の敷設工事の様子



【プロジェクト効果】

生起確率規模 Rainfall Intensity	評価指標 Evaluation Index	プロジェクト前 Before Project	プロジェクト後 After Project
2年 2 year return period	浸水深 Inundation Depth	最大100cm Maximum 100 cm	最大20cm Maximum 20 cm
	浸水継続時間 Inundation Duration	最長7時間 Maximum 7 hours	2時間以内 Less than 2 hours

(プロジェクト効果：イメージ図)

